

**平成29年度福島県
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」**

田村市瀬川地区調査報告会

獨協大学地域活性化プロジェクト米山チーム

目次

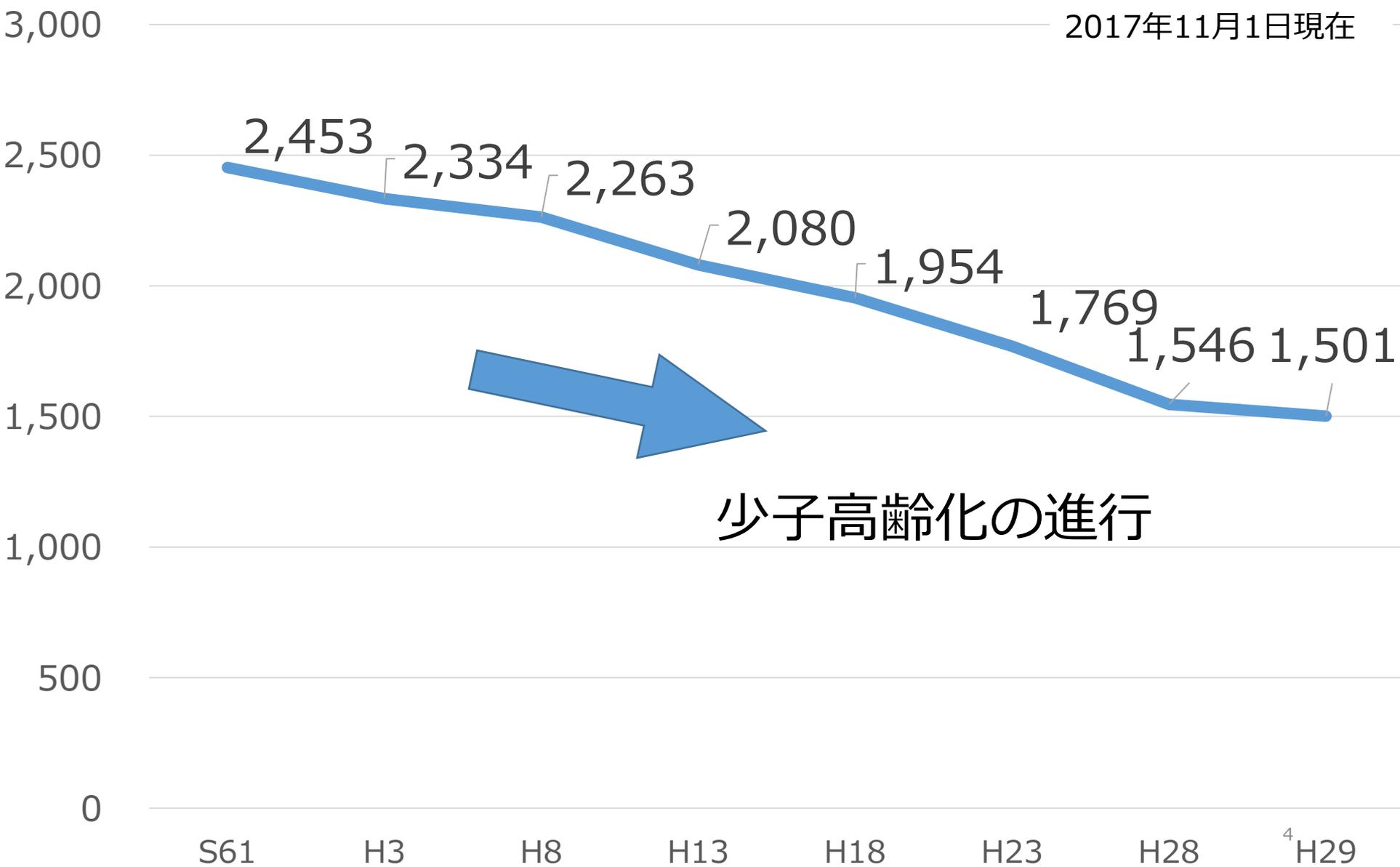
1. 田村市瀬川地区の概要
2. 瀬川地区の現状
3. ヒアリング調査
4. 瀬川地区の課題
5. 課題解決のための提案

1.田村市瀬川地区の概要

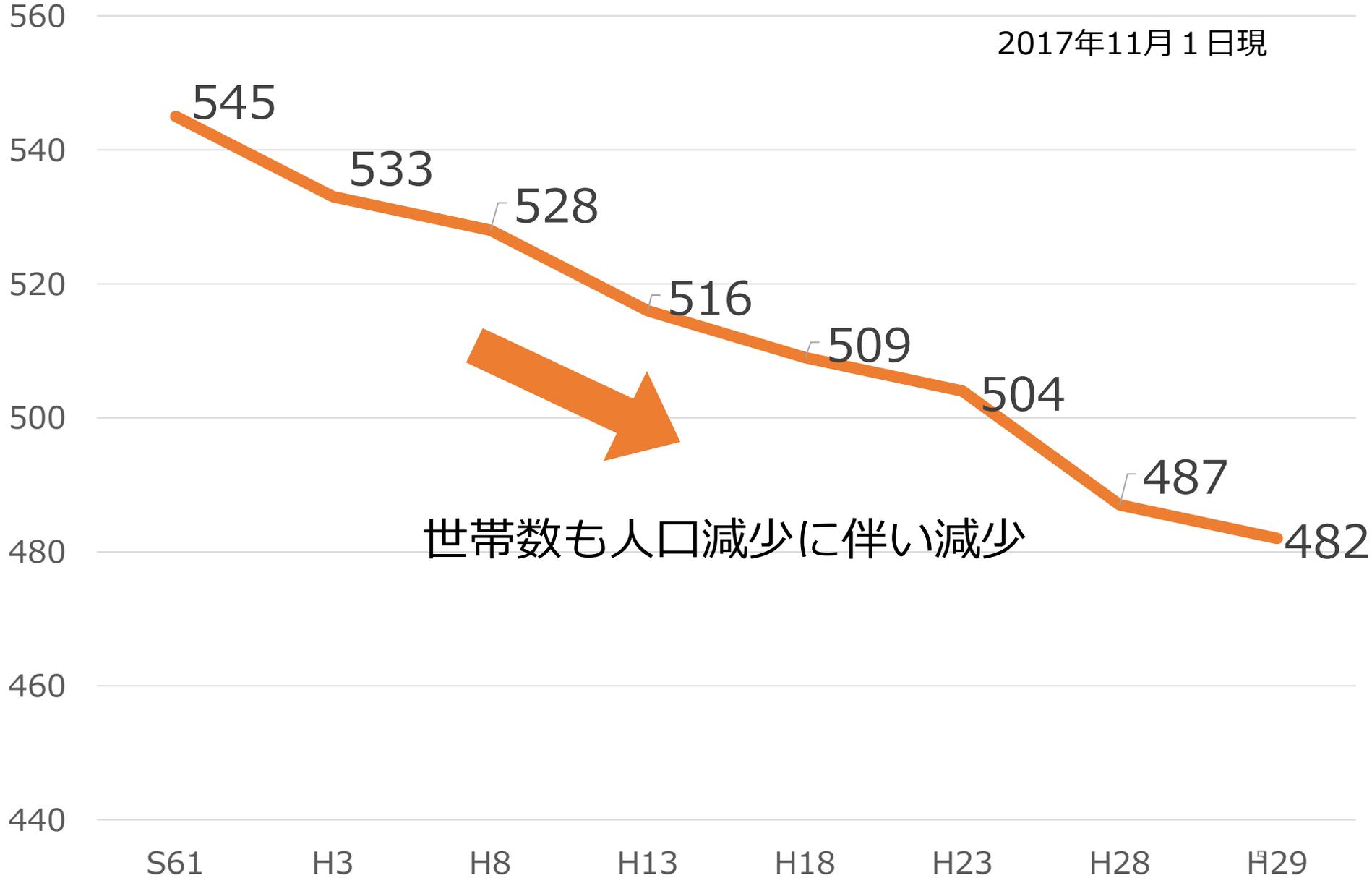
- 現在の田村市の北西部、旧船引町の北部に位置
- 行政区分は、田村市船引町の石沢、新館、大倉、門鹿4つの地区
- 面積は約17.73Km²、標高400m前後の丘陵地。東側には移ヶ岳(標高994.5m)
- 丘陵地の大部分が森林。低地の部分については、田畑の耕作地。瀬川地区の中央を移川(1級河川長さ49.5km)が東西方向に流れ、これに紫川が大倉で合流し、阿武隈川へと注がれている。
- 主要道路として国道349号線、県道50号線



2.瀬川地区の現状—人口の推移

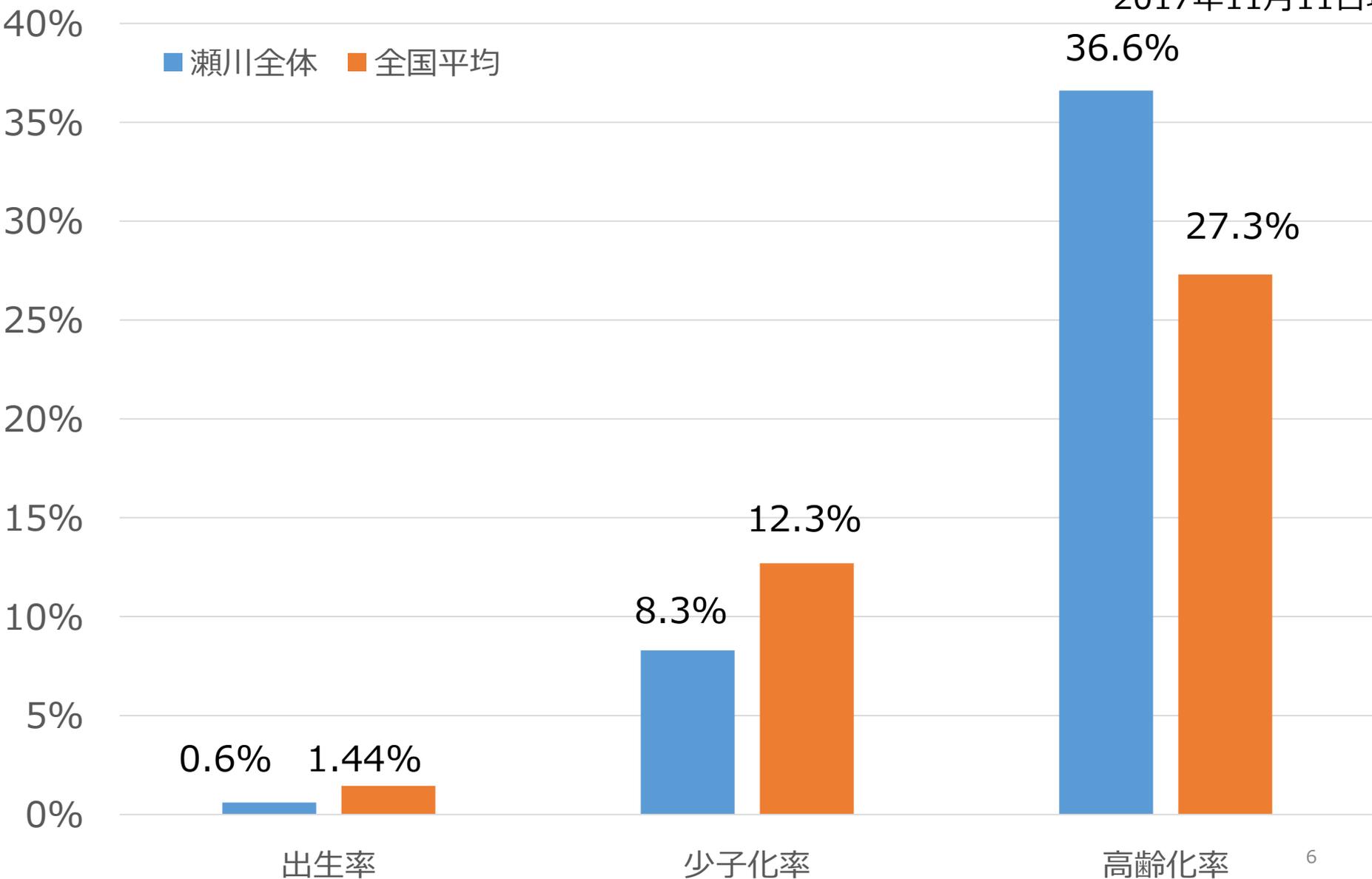


2.瀬川地区の現状—世帯数の推移



2.瀬川地区の現状—少子高齢化率及び出生率

2017年11月11日現在



3. 現地調査—視察先

視察先一覧

葉タバコ農家	葉タバコ農家	かつとしさん
エゴマ搾油所	エゴマ農家	橋本さん
ミツバチ養蜂場	日本養蜂家	
酪農家	大森牧場	面川さん
レタス有機栽培農家	いせや農園	伊藤さん
JA福島さくら ふぁせる たむら		渡辺さん

3. 現地調査ーヒアリングから得られた問題点

- 地域コミュニティが崩壊しつつあり、地域住民の交流の場がない。
- 子供が少ない。子どもを育てる環境が整備されていない。
- 日常生活の主に健康面をサポートする施設がない。
- 高齢者に対する日常生活におけるサポートが少ない。
- 収入源、働き口が少ない。

- 空き家が増加している。
- 耕作放棄地が増加している。

- 車は通るが立ち寄ってお金を落とす場所がない。
- 宿泊施設が不足している。

4. 瀬川地区の課題

- 子育てしにくく、日常生活が不便。
- 収入源がない。
- 外部の人が瀬川地区を訪れる理由がない。
- 耕作放棄地、空き家が増えている。



- 少子高齢化を交流人口増で補い、経済循環を生み出していく。
- 「訪れてよし、住んでよし」の地区にしていくことで、「住み続けたい」、「退職後は戻りたい」、「移り住みたい」と思ってもらえるようにする。



「瀬川プライド」の醸成

5. 課題解決のための提案

提案① 地域住民の交流の場を作る

提案② SEGAWAマルシェの開催

提案③ エコツアーの企画・開催

提案④ フラワーロードの整備と「愛を込めて花を植えようプロジェクト」

提案⑤ 観光マップ・観光案内板の作成

提案⑥ 空き家や耕作放棄地の活用

提案⑦ 日常生活をサポートするボランティア活動

提案⑧ 本学学園祭で瀬川産の農産物・エゴマ等の販促活動

提案① 地域住民の交流の場を作る

企画の概要

瀬川住民センター、旧瀬川中学校、地区の空き家などを活用して、地域の住民がゆっくりと会話を楽しめる場「瀬川のお休み処」(仮称)を作る。

期待される効果

- 日常生活を地区内で過ごす子育て世代、高齢者の相互交流を増やし、地域住民の憩いの場を作る。

具体的な企画案

次のような機能を備える：

- コーヒー・紅茶・ケーキなど喫茶店のような場
- お茶、漬物、果物、惣菜なども提供する高齢者のお茶のみ場
- 子供を遊ばせておける場

提案② SEGAWAマルシェの開催

企画の概要

瀬川住民センター(案)で、人々の暮らしを豊かにするために**マルシェ**を開催する。

- 地区で収穫された農作物や、それを使った料理を販売
- エゴマやそば等の地域内でとれた農産物の通信販売
- 西洋野菜の生産・販売（通信販売）

期待される効果

地区の住民と外部の人も含めて多くの人を訪れ、そこで交流が生まれ、地元産のものを購入することにより、お金が地区に落ちて、地区の経済循環を促す。

具体的な企画案

場所：瀬川住民センター

- 客を呼び込む仕組みづくり：交通、PR、イベントなど
 - 交通：らくらくタクシー、バス会社と共同でマルシェ便
 - PR：フラワーロードやイルミネーションなどを徐々に整備していく。
 - イベント：学生による発表会（吹奏楽や書道パフォーマンスなど）お茶会（お茶菓子を食べながら世間話、瀬川の将来について話し合うワークショップ、来訪者に愛を込めて花を植えようプロジェクトなど）

提案③ エコツアーの企画・開催

企画の概要

- 地元の方々に協力していただいて、起伏に富む瀬川地区の魅力を堪能できるエコツアーを住民が主体的に企画し、実施する。

期待される効果

- 瀬川の魅力を知ってもらい、ツアーに参加してみようと思ってもらおう。
- 耕作放棄地も活用することもできる。

具体的な企画案

- 地形を生かしたハイキングコースを設定
- 牧場での乳しぼり体験や蜂蜜採集体験など、農業体験を実施（①民宿と提携した農業体験、②収穫から食すまですべて体験できる長期間にわたるツアーの実施、③農業体験インターンシップなど）
- 課外活動の一環として、ゼミ・学生を誘致する。
- レンタサイクルも導入・整備

提案④ フラワーロードの整備と 「愛を込めて花を植えようプロジェクト」

企画の概要

- 現在、一部の瀬川住民の間で少しずつ取り組んでいるフラワーロードの整備をする。

例) にゅうぜんフラワーロード
(公益社団法人日本観光振興協会より)



期待される効果

- フラワーロードを整備することで華やかな空間を演出することができ、最近話題になっているインスタグラムなどのSNSに投稿したい若者が訪れることも期待される。
- できるだけ多くの地元の人を募集し、瀬川地区の住民が主体的に取り組むことで地元の士気を上げることができる。

具体的な企画案

- 瀬川地区に愛着を持ってもらい、フラワーロードの整備を進める。
- また「愛を込めて花を植えようプロジェクト」をやってみてはどうだろうか。このように宣伝していく上で瀬川地区全体の魅力を高めていくような取組も大切になってくる。

提案⑤ 観光マップ・観光案内板の作成

企画の概要

- イラストや写真を記載し視覚的にわかりやすい観光マップを作成したり、観光案内図を設置する。
- 船引駅や主要地点に設置し、国道を通る人の目につくようにしたり、来訪者の手に取りやすいようにする。
- 地元の方々に協力していただいて、瀬川地区が一带となって盛り上がるために、エコツアーを開催する。

期待される効果

- これまで国道を素通りしていた人や、瀬川地区の地域資源をよく知らなかった人に対して、瀬川の魅力を知ってもらい、立ち寄ってみよう、ツアーに参加してみようと思ってもらおう。

具体的な企画案

- 地形を生かしてハイキングコースを設定
- 牧場での乳しぼり体験や、蜂蜜採集体験など
- 農業体験を実施。耕作放棄地を活用することもできる。
- 課外活動の一環として、ゼミ・学生を誘致する。

提案⑤ 観光マップ・観光案内板の作成

The screenshot displays a mobile application interface for creating a travel map. On the left, a red header bar contains a back arrow, the text "せがわめぐり", and a close button. Below the header, a list of points of interest is shown under the heading "無題のレイヤ". The list includes:

- せがわ食堂 (Yellow 'X' icon)
- 瀬川住民センター (Blue house icon)
- 田端屋商店 (Red shopping cart icon)
- 聖石温泉 (Orange hot spring icon)
- セブンイレブン船引門鹿店 (Green 7-Eleven icon)
- ファミリーマート松本船引店 (Green FamilyMart icon)
- 蛇塚盛のしだれ桜 (Green cherry blossom icon)
- 熊野神社 (Grey shrine icon)
- 大森牧場 (Black cow icon)
- 移ヶ岳 (Green mountain icon)
- 観光ルート① (Blue location pin icon)

At the bottom of the list is a link labeled "一部表示". The right side of the screen shows a map with a blue route connecting various locations. A yellow 'X' icon is placed on the route. Other map features include a search bar at the top with the character "あ", a search result for "センター", and labels for "田村市瀬川小学校", "瀬川郵便局", "山岸建設", and "田村市美山小". A small inset image labeled "航空写真" is visible in the bottom left corner of the map area.

提案⑥空き家や耕作放棄地の活用

企画の概要

- 瀬川地区における空き家を利用した「農家民宿」として活用する。
- 耕作放棄地を有効活用して、花畑にしたり野菜の生産を導入する。

期待される効果

- 瀬川地区には宿泊施設がないため、外部から人を呼び込み、交流人口を増やすためには、宿泊施設を設けることが有効である。
- 「農家民宿」によって、農作物のアピールや副収入につながる。

具体的な企画案

- 瀬川で付加価値の高い西洋野菜を栽培し、西洋野菜の産地にする。

提案⑦ 日常生活をサポートするボランティア活動

企画の概要

- 「こども食堂」の設置：ボランティアの方々によって、瀬川住民センターにて子供や地域の方々が少額で食事で提供する場を設ける。
- 高齢者の方に向けて軽トラ販売の実現：高齢者に軽トラで瀬川でとれた農作物などの販売を行う。

期待される効果

- 子育ての不便さや、高齢者の買い物の不便さを少しでも緩和することができる。

具体的な企画案

- 「こども食堂」の設置場所としては「瀬川住民センター」が考えられる。
- 軽トラ販売は「やってみっ会」の方々に協力いたただく。

提案⑧ 本学学園祭で瀬川産の農産物の販促活動

企画の概要

- 獨協大学学園祭などにおいて、瀬川産の農産物を販売する。

期待される効果

- 瀬川地区という場所がどこにあり、そこでどんな想いで野菜を作っているのか、エゴマとはどのような効果があるか等、県外にも市場を広げるために少しでも多くの人に認知してもらうことができる。

具体的な企画案

- 獨協大学学園祭「雄飛祭」、国際環境経済学科・環境共生研究所共催で毎年、開催される「フクシマの未来を考える」において瀬川産農産物の販促活動を行うことで学生にもっと関心を持ってもらう。

ご清聴ありがとうございました

